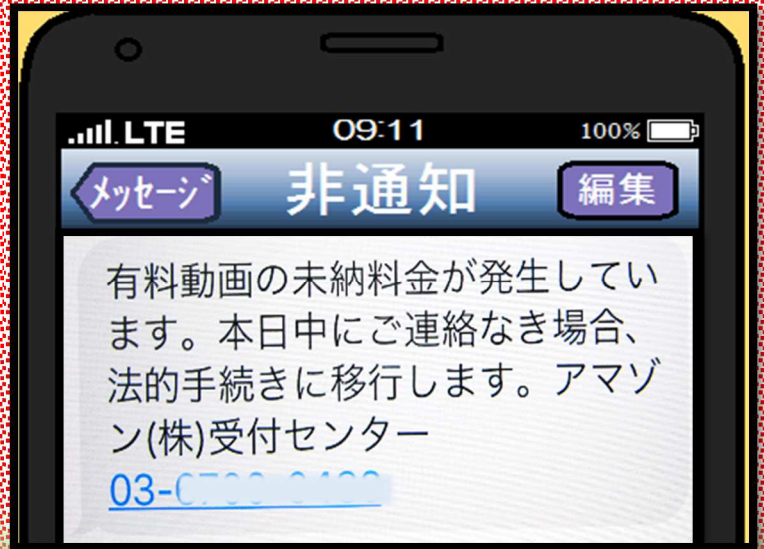
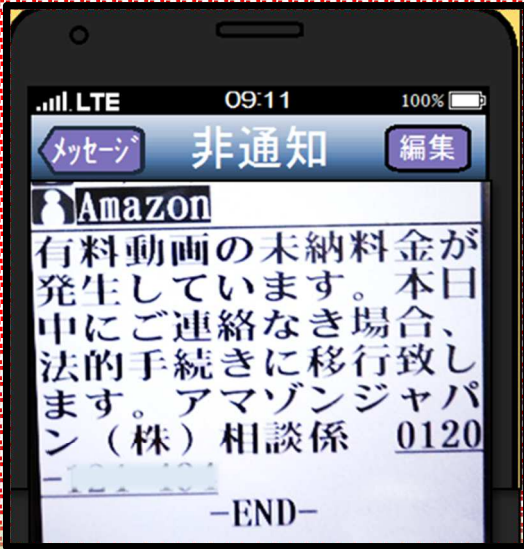
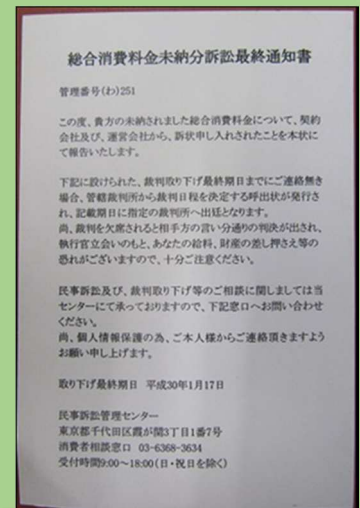


# ご注意ください！こんなメールやハガキは詐欺です！！



保護シールを剥がすと・・・  
民事訴訟管理センター等という  
架空団体を騙る  
**嘘の裁判取下げ費用請求通知**  
として連絡先が記載されている。



メールやハガキに書かれている電話番号へ連絡すると番号を教えられ「コンビニへ行って、レジで番号を言い●●万円の支払いをすること」等と指示をされます。

## ポイント

- ★身に覚えが、あっても、無くても、すぐ相談！
- ★「裁判になる」「法的手続きに移行します」は嘘！
- ★メール等の電話番号には、絶対連絡をしない！



沼 津 警 察 署  
( 0 5 5 - 9 5 2 - 0 1 1 0 )

# 最近の詐欺の手口を紹介します!

- ① まず犯人は、インターネットで数十万円のお買い物♪  
「収納代行サービス（コンビニ決裁）」を選択して払込み伝票番号を取得!



- ② 払込み伝票番号を取得した犯人は、有名通販業者や架空の民事訴訟団体等をかたって不特定多数の市町民に、有料サイトの未納金あり。連絡が無い場合は法的手続きに移行する。」等と嘘の内容のハガキやメールを送り、エサにかかるのを待つ。

- ③ エサにかかって電話をしてきた被害者から言葉巧みに住所や氏名等を聞き出すと、一転してヤクザ風の口調で「直ぐに支払わないと家に金を取りに行くぞ。」等と凄む。被害者が怖がると、弁護士役の犯人に電話を代わり、「今から言う番号で、コンビニからお金を●●万円振り込めば何とかなる。24時間入金できるから大丈夫。」等と言って、お金で簡単に解決できるからと安心させる。



- ④ 被害者に「お金さえ支払えば、すぐに解決する。助かるんだ。」と一安心させ、更に追い討ちをかけるように「コンビニならATMでお金も下ろせるし、レジの支払いで怪しまれたら、大きな買い物をしていたのを忘れてて督促されたと言えば大丈夫だから直ぐにコンビニに行くように」等と、誰にも相談させないように急がせる。

- ⑤ 被害者は、犯人の言葉に騙され、コンビニのレジで犯人から教えられた払込み伝票番号により、犯人側がインターネットで購入した数十万円もの商品等の代金を犯人の代わりに支払う。代金が支払われると、商品の利用権利が犯人グループのものになる。

犯人は複数人で色々な役を演じながら、被害者を不安のどん底に突き落とし、解決策を示して安心させるとともに、焦らせて冷静に考える時間を与えないよう様々な口撃を仕掛けてきます。

それが「だましの手口」です。

裏面のようなハガキやメールが来ても、絶対に相手側に電話をしないで、まず相談して下さい。

